



天台スカウト・ニュース

No.10

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
ホームページアドレス：<http://www.tendai-scout.jp>

発行日：平成28年7月10日

平成28年5月20日に開催されました、天台宗スカウト連合協議会定例理事会において、任期満了に伴う役員改選が行われ、寺本亮洞理事長、源田俊昭副理事長の再任が決定いたしました。また、長年スカウト連合協議会の発展にご尽力いただきました京都第77団、羽生田寂裕副理事長と浅口第3団、茅原隆之理事が退任されました。退任に伴い、羽生田師と茅原氏、秦野第1団前理事、多田孝正師の3名に、顧問に就任いただきました。任期は平成28年度から平成30年度となります。任期中には、第9回天台キャンポリーや第17回日本ジャンボリーなど、数多くの行事が行われます。寺本理事長より今期の抱負をいただきました。

ご挨拶



理事長：寺本亮洞

昨年は世界のスカウトが集う、「世界スカウトジャンボリー」が山口県きらら浜で開催され、天台宗の関係者・指導者・スカウトを含めて多くの人が参加し、交流を深めました。

天台宗では今年、「往生要集」（教科書にも載り、地獄極楽の世界を説いた説話集）を書かれた恵心僧都源信和尚の御遠忌記念事業（法要）が、他宗団も含め盛大に行われております。来年は、比叡山の「千日回峯行」を始められました相応和尚の御遠忌の年でもあります。私達天台スカウトも「祖師先徳鑽仰大法会」の法要も兼ねて、来年7月に「第9回天台スカウトキャンポリー」を比叡山上にて300人規模で開催することを決定し、準備を始めました。

「災害は忘れたころにやってくる」という言葉は死語になってしまったのでしょうか。2011年、未曾有の「東日本大震災」が起こり、現在でも復興は遅れています。特に福島県では原発の影響で風評被害もあり、家族がバラバラに生活している状態が続いておりますのに、5年後の今年、「熊本地震」が起きました。震度7が2回という大変な地震により、熊本城・阿蘇神社の一部が崩壊し多くの被災者がいました。このようなときに「そなえよつねに」をモットーに「人のお世話にならぬよう」「人のお世話をするように」「そして酬いを求めぬよう」の方針にそって日々活動、訓練しているスカウトは、他の人々より多くの経験と実践が少しあは役立っていると思います。これからも私達指導者は「人づくり」を第一義に活動してまいります。

予告 第9回 天台キャンポリーを開催！！

日時：平成29年7月29日（土）～31日（月）会場：比叡山延暦寺・大津市比良げんき村

平成29年7月29日（土）～31日（月）の2泊3日の日程で天台宗の総本山である比叡山延暦寺並びに大津市比良げんき村を会場に「第9回天台キャンポリー」を開催いたします。

昭和46年に開催された第1回天台宗ボーイスカウト全国大会から数えて9回目、前回より6年ぶりの開催となります。全国の天台スカウト300名以上が一堂に会する一大イベントです。比叡山の靈気を肌で感じ、スカウト活動の原点を見つめ直す絶好の機会です。天台スカウトの皆さんのご参加を心よりお待ちしています！！



△第8回キャンポリーで行われた団旗法要

第23回世界スカウトジャンボリー特集

日時：平成27年7月29日～8月7日 会場：山口県山口市 さらら浜

平成27年7月29日（水）から8月7日（金）の10日間の日程で、山口県山口市阿知須さらら浜公園を会場に、第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）が開催されました。

天台宗スカウト連合協議会では、大会期間中、信仰奨励ゾーン「日本の仏教」エリアに天台宗パビリオンを設置し、天台宗の教えや比叡山の修行、伝教大師最澄さまの教えについての展示や、礼拝作法の指導を行いました。国や宗教を越えて、1000人を越えるスカウトが来館しました。



天台宗パビリオン

△天台宗パビリオンを出展



△修行の展示を熱心に見学



△礼拝作法について学ぶ



△各教宗派それぞれに出展



△



△来館した台湾スカウトと

23WSJ 記録写真



曹洞宗の坐禅体験や浄土真宗本願寺派の書道体験など、様々なワークショップが行われ、各国のスタンツも連日行われた。下段右から2番目は8月2日に行われた世界仏教スカウトの集いの様子。

第32期仏教章第2教程講習会開催

日時：平成28年3月28日～30日 会場：延暦寺居士林

平成28年3月28日（月）～30日（水）の2泊3日の日程で、第32期仏教章第2教程講習会が開催されました。今年も比叡山延暦寺・居士林の道場に全国から19名のスカウトが集まり、厳しい修行に取り組みました。

講習会では、仏教章取得の要件である「天台宗の教義」、「伝教大師の伝記」、「家庭勤行と仏壇の莊嚴」、「仏教讃歌」といった各種講義の他、居士林スタッフの指導により、食事作法や座禅止觀、回峰行の実践など、僧侶の生活や修行を体験します。

普段の生活とは異なる環境の中、参加スカウト達は、悪戦苦闘しながらも、お互いに声をかけながら全日程を無事終了しました。閉講式では、寺本理事長から上級班長を務めた有末大輝君に修了証が手渡され、有末君より「この経験を今後の活動に活かしていきたい」との感謝の言葉が述べられました。居士林を後にするスカウトの後姿は、ほんの少し成長したように感じられました。

参加スカウトは、今後、自団に戻り3ヶ月以上の実践・奉仕活動を行ったのち、日本連盟より仏教章が授与されます。



△家庭での勤行作法を学ぶ



△座禅止觀は姿勢を正して！



△講義「伝教大師の伝記」



△山内のオリエンテーリング



△大講堂前の鐘楼で鐘撞き



△講義「仏歌勤行、仏教讃歌」



△朝3時より始まる「回峰行」



△感謝の言葉を述べる上級班長

第33期 天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

日 時：平成29年3月27日(月)～3月29日(水) 会 場：比叡山延暦寺西塔居士林
【参加資格】

1. 登録完了のボーイスカウト1級以上・ベンチャー・ローバースカウト
ガールスカウトはレンジャー以上
2. 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
(1)天台宗の教えに篤い信仰の心をもつスカウト (2)天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
(3)家の宗派が天台宗であるスカウト (4)天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
3. 第1教程修了者 (ガールもこれに準ずる)

※平成29年1月下旬にホームページと天台各団宛にご案内致します。

大津第12団「平成28年熊本地震」募金寄託式



△集まった募金を手渡すスカウト

平成28年5月16日（月）天台宗務庁に於いて、大津第12団（天台第1団）の「平成28年熊本地震」募金寄託式が行われました。大津第12団では4月から熊本地震のための募金活動を行っており、集められた募金を、一隅を照らす運動総本部に寄託しました。

寄託式にはカブスカウト、ビーバースカウト代表5名が出席し、一隅を照らす運動総本部キャラクター「しょうぐうさん」に、集められた募金が手渡されました。

大津第12団発団50周年記念式典 於：ピアンカ船上

平成28年5月14日（土）大津第12団（天台第1団）の発団50周年記念式典が、琵琶湖観光船ピアンカ船上にて執り行われました。当日は現役団員、また、小堀光實延暦寺執行をはじめとしたOB団員や来賓、約200名が参加。湖上より比叡山を礼拝し開会された式典は、表彰式、懇親会、宝探しゲーム、音楽隊による演奏等と続き、盛会のうちに幕を閉じました。



△50周年旗を参加者に披露



△カブ隊・指導者の紹介



△比叡山に向かい宗教儀礼

東久留米第2団 藤元悠介さんが富士スカウト章を受章！

東久留米第2団（天台第14団）VS隊の藤元悠介さんが、富士スカウト章を受章しました。富士スカウト章は、ベンチャースカウトが受章する進級章、進歩章のなかでも最高位に位置付けられる章で、ベンチャースカウトだけではなく全ての『スカウトの到達点』と言われます。

受章した藤元さんは「富士スカウト章に挑戦するなかで、本当に多くの方々に支えられていることを実感した。これからは後輩達にスカウト活動の楽しさを伝えたい」と話しました。

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：平成28年～平成30年

理 事 長：寺本 亮洞（東久留米2団）
 副理事長：源田 俊昭（足利1団）
 常任理事：吉川 廣隆（村岡1団） 山本 健二（大津12団）
 林 敬順（稻沢9団） 當麻 藍（東京150団）
 小鴨 覚俊（大津12団）
 理 事：葉上 彰保（浅口3団） 神原 彰仁（倉敷14団）
 小堀 光實（大津12団） 幹 敬盛（加古川2団）
 山崎 英夫（秦野1団） 多田 孝元（秦野1団）
 久保田由実子（滋賀14団）
 顧 問：多田 孝正（秦野1団） 茅原 隆之（浅口3団）
 羽生田寂裕（京都77団）
 相 談 役：幹 榮盛（加古川2団）

スカウト活動（教育）とは？

今から100年前にイギリスのベーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術（スカウティング）であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教（信仰）」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。